

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2006-114974 (P2006-114974A)
【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
【年通号数】公開・登録公報 2006-017
【出願番号】特願 2004-297668 (P2004-297668)
【国際特許分類】

H 0 3 B 5/32 (2006.01)

【F I】

H 0 3 B 5/32 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 31 日 (2006.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部からの制御電圧に応じて容量値が変化する可変容量手段を備えた電圧制御型圧電発振器であって、

前記可変容量手段は、第 1 の可変容量ダイオードと、該第 1 の可変容量ダイオードと並列に接続された第 1 のコンデンサと、第 2 の可変容量ダイオードと、前記第 1 の可変容量ダイオードのカソードと第 2 の可変容量ダイオードのアノードとの間に挿入接続された第 2 のコンデンサと、前記第 1 の可変容量ダイオードのアノードと第 2 の可変容量ダイオードのカソードとの間に挿入接続された第 3 のコンデンサとを備えており、前記外部制御電圧を前記第 1 の可変容量ダイオードと第 2 の可変容量ダイオードに対してそれぞれ極性が逆向きとなるように印加したものであることを特徴とする電圧制御型圧電発振器。

【請求項 2】

前記第 1 の可変容量ダイオードとして、複数の可変容量ダイオードを並列接続したものをを用いたことを特徴とする請求項 1 に記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項 3】

前記第 2 の可変容量ダイオードとして、複数の可変容量ダイオードを並列接続したものをを用いたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項 4】

前記第 1 の可変容量ダイオードに、更に可変容量ダイオードを直列接続したことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電圧制御型圧電発振器。

【請求項 5】

前記第 2 の可変容量ダイオードに、更に可変容量ダイオードを直列接続したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の電圧制御型圧電発振器。